

長崎県五島市沖における協議会

事業の進捗状況

2026年 1月 26日

五島フローティングウインドファーム合同会社



事業の進捗状況（全体スケジュール）

年度	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028
協議会					10/10 協議会① 11/25 協議会②			2/21 協議会③ 8/10 協議会④	12/15 協議会⑤	2/12 協議会⑥	1/26 協議会⑦			
再工事海域利用法 公募占用指針手続					12月 促進区域 指定	6月 公募開始 12月 提出	6月 事業者選定	4月 公募占用 計画認定	9月 公募占用 計画変更 認定					
環境影響評価					資料収集 現地調査							運転開始後調査		
					配慮書 方 法 書 準 備 書 評 価 書							報告書		
											工事中調査			
												運転開始後監視		
漁業影響調査											漁業影響調査			
工事・ 運転計画								建設工事（工場、陸上部）		建設工事（海上部）	試運転	2026年1月 運転開始		
								海域占用開始 2022年8月						

事業の進捗状況（工事スケジュール）

前回の法定協議会(2025年2月12日)以降、順調に進捗し、**2026年1月5日に運転を開始した。**



8号機側から撮影、一番奥は既設2MW風車(撮影日:2026年1月6日)



1号機側から撮影 (撮影日: 2026年1月6日)

事業の進捗状況（地域貢献）

五島地域の小中学生による風車の名前募集

再生可能エネルギーを通じて環境問題を身近な課題として考えるきっかけとなり、都会に進学・就職した後も、「私が名前をつけた風車が今も故郷五島で回っている」と思うことで郷土愛を持ち続けてもらうために、**小中学生を対象とした公募により名前を決定**

公募により決定した風車の名前

- 1 かせてらす
- 2 かめりあぶりーず
- 3 ぎばるかぜ
- 4 ごとっかぜ
- 5 しーちょっと
- 6 ばらもんかぜ
- 7 みじょかぜ
- 8 むげんかぜ



環境配慮事項への対応状況

1) 漁業影響調査の協議経緯（再掲）

- ・五島ふくえ漁協、五島漁協、奈留町漁協との協議を令和4年より実施した。そのなかで、日々の操業場所の情報は漁協も把握しておらず、具体的な漁場の情報を漁業者個人から得ることは難しいとのご意見をいただいた。
- ・これらを考慮しつつ、複数回の協議を経て、①試験操業、②漁業者ヒアリング、③-1データの収集整理（各種統計）、③-2データの収集整理（漁協提供）を行うことで、令和5年5月に合意を得た。

漁業影響調査における有識者

漁業影響調査の方法について、有識者として意見や助言をいただいている。

所属	氏名(役職)	面談日
長崎大学 総合生産科学域（水産学系）	松下吉樹(教授)	R5.6.2, R7.12.9
長崎大学 総合生産科学域（水産学系）	山口敦子(教授)	R5.6.22, R7.12.9

面談日	主な意見
R5.6.2	長期的な調査及びデータ収集が必要であり、そのための仕組みを確立いただきたい。
R5.6.2	自然環境の変化と風車建設の影響をどのように峻別するかが課題である。
R5.6.2	特定の魚種が風車に餽集したことによって、好影響とすることには注意が必要である。
R5.6.2	将来的には対象魚種を増やすことも念頭において頂きたい。
R7.12.9	文献調査により、周辺海域だけでなく全体の水産資源の動向を把握している点や単位水揚げ量を記録している点は評価できる。
R7.12.9	試験操業についてはこれまでの協議経緯も踏まえて、実施可能な最大限の調査をしていると理解した。

引き続きご意見を頂きながら、漁業影響調査を継続していく。

環境配慮事項への対応状況

2) 漁業影響調査の実施状況

運転開始後の状況と比較するために、工事中調査を実施した。

①試験操業

- 促進区域周辺にて、合計5回の試験操業を実施した。

調査日	調査内容	漁獲された主な魚種
2023/11/8～9	はえ縄2隻、一本釣り2隻	キダイ等
2024/5/21～22	はえ縄2隻、一本釣り2隻	アカムツ等
2024/10/29,11/14	はえ縄2隻、一本釣り2隻	キダイ等
2025/5/23	はえ縄2隻、一本釣り2隻	アカムツ等
2025/11/12～13	はえ縄2隻、一本釣り2隻	キダイ等



(2025/5/23 漁獲されたアカムツ)

②漁業者ヒアリング

- 工事中の漁業影響調査の結果取りまとめ後、その結果を漁業者に対し個別に説明する場を設け、同時に現状の漁獲量や操業エリア等についてヒアリングを行う。なお、漁業者と接触する際は隨時ヒアリングを行っており、現在のところトラブルは報告されていない。

環境配慮事項への対応状況

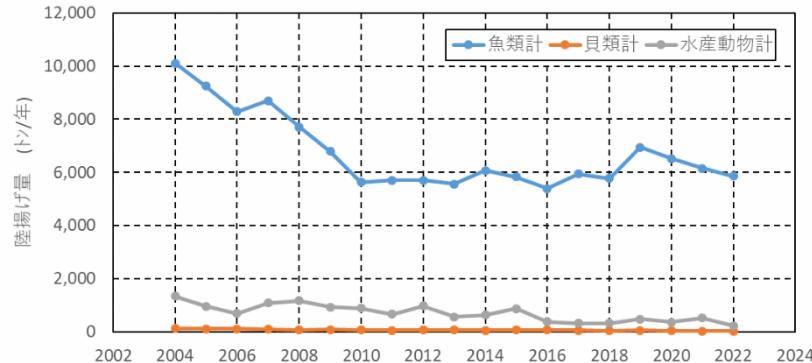
③-1 データの収集整理（各種統計）

- 水産教育・研究機構による魚種別資源評価（令和4～7年度）および五島市水産課による港勢調査（平成16～令和4年度）を整理した。

③-2 データの収集整理（漁協提供）

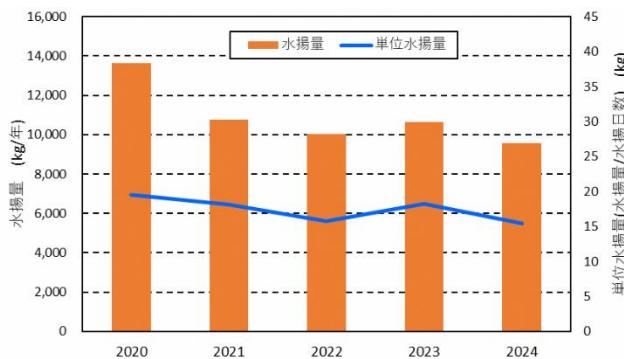
- 五島ふくえ漁協、五島漁協、奈留町漁協より提供を受け、風車設置海域周辺での水揚げ量を整理した。

例) ③-1 港勢調査による五島市の水揚げ量

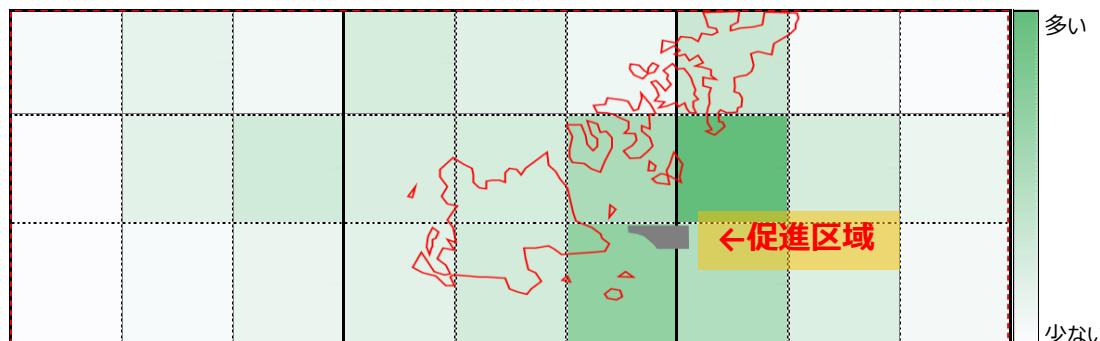


(※魚種別についても別途整理)

例) ③-2 マダイ（定置網を除く）の水揚げ量



例) ③-2 まき網の水揚げ量の分布（全魚種、2024年度）



風車設置による漁業影響を把握するための漁業影響調査として、

①試験操業、②漁業者ヒアリング、③データの収集整理（各種統計・漁協提供）を継続していく。

環境配慮事項への対応状況

3) 環境影響評価手続きの経過報告

- 本事業では、環境影響評価法の他関係法令に基づく発電事業に係る環境影響評価手続きを2016年～2018年に実施済である。その際に策定した工事中の環境影響把握のための環境調査は、2023年12月の第5回協議会までに実施した。
- 2023年12月の第5回協議会以降は、事後調査（供用後）に向けた準備を進めた。
- 2026年1月より事後調査（供用後）を実施する。

コウモリ類	①バットストライク調査 ②洋上トランセクト調査	2季（春季及び秋季の渡り時期） 3季（春季、夏季、秋季）
	③陸上定点調査 ④風車ナセルにおける連続調査	3季（春季、夏季、秋季）
	⑤衝突監視カメラ調査	1年間（通年）
鳥類	①バードストライク調査 ②洋上定点調査	2季（春季及び秋季の渡り時期） 3季（春季、夏季、秋季）
	③衝突監視カメラ調査	1年間（通年）
海棲哺乳類・魚類	①水中音調査 ②海上目視調査	1回 3季（春季、夏季、秋季）
藻場・サンゴ群落（潮間帯生物）	①水中観測	2回（1年次及び3年次、藻類の繁茂期）

→ 環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合には、専門家等の指導を受け、効果的な環境保全措置を検討し、実装可能な措置を講じる。

2026年1月より事後調査（供用後）を実施する。